

学校 東雲 (しのめ)

だより



TEL 31-3170 31-3180 FAX 32-1130 http://hachinohe.ed.jp/higasi_j/

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

トイレも心も磨きました 「第6回トイレ掃除に学ぶ会」

昨日（7月9日）、東中恒例「トイレ掃除に学ぶ会」を行いました。今年も式萬圓堂さんのご協力をいただき、数えて6回目となりました。

生徒の希望を募ったところ、190名を越えてしまいましたので、昨年に続き1年生にはがまんしてもらうことになりました。

生徒140名、先生15名、式萬圓堂さん1名（加藤真生さんは5年連続で、しかも転勤先の青森市からかけつけてくださいました）の合計156名が、校内のすべてのトイレに分かれ、9時から11時までの約2時間、楽しみながらも集中して取り組みました。この「トイレ掃除に学ぶ会」を始めた4年前は、「悪臭」や「汚れ」に対する拒否感から「苦い顔」もかなりあったようですが、今では自主的に参加してくれた全員が「笑顔」でトイレをピカピカにしてくれました。企画し、中心になって指導してくれた下山大先生は、この「トイレ掃除に学ぶ会」の効用に次の5つをあげていました。『①謙虚な人になれる。②気づく人になれる。③感動の心を育む。④感謝の心が芽生える。⑤心を磨く。』このうちのどれも本当に大切なことだと思いますが、私は特に「心を磨く」ということが、多感な中学生には大事なことだと感じています。心を取り出して磨くことは、物理的にはできないわけですから、目の前の見えるところ、それも日常の使用頻度は高いのに人の嫌がるトイレをきれいにすると、心も美しく成長していくのではないかと思うからです。どうぞ、保護者の皆様もご来校された機会に、生徒たちが精魂こめて磨きあげたトイレをご使用いただき、前述した5つの効用や生徒の気持ちを感じとっていただければ幸いです。（文責：教頭 工藤聡）

僕は、今回はじめてトイレ掃除に参加しました。やる前はいろいろと心配だったのですが、きちんと掃除ができました。やってみたら、とても楽しかったです。東中伝統のトイレ掃除に参加して、「見えない所もしっかり気をつかうこと」など学んだことはとても多いので、これからの学校生活にいかしていきたいです。（3年1組 寺下諒）

私は昨年も申し込んだのですが、人数が多かったため、トイレ掃除ではなくてワックスがけでの参加でした。ですから、念願のトイレ掃除ができてとてもうれしかったです。最初、換気扇に水をかけて汚れをとると、黒いかたまりが降ってきました。私たちが気にしないところにも、たくさん汚れがたまっているのだな、と驚きました。それから、隅々まで磨いていると、あまり汚れが落ちなくなってきた、少しやる気を失ってしまいました。そしたら、奥寺先生が「汚れが落ちたように見えなくても、見えないものが落ちているんだよ！」とおっしゃいました。その言葉に胸をうたれ、さらに頑張れました。最後に全体をふき終わると、いつも使っているトイレが本当にみちがえて見えました。そして、汚れとともに、心のモヤモヤもきれいに洗い流せた気がしました。すごくすがすがしく、気持ち良かったです。これから、私たちが毎日お世話になっているトイレに感謝しながら、大切に使用していきたいと思います。そして、この素晴らしい経験に感謝したいと思います。

（3年3組 佐々木春菜）

